

## 三井住友銀行のオンラインセミナー

# 新しいNISAの活用方法について

## 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号  
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



三井住友DSアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号  
加入協会： 一般社団法人投資信託協会、  
一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# はじめに

## 今回のセミナーのポイント

- ① **NISA（少額投資非課税制度）を活用した  
税の軽減効果**
- ② **長期投資の魅力**
- ③ **新しいNISAの活用方法**

# NISAの新旧比較

今回の変更点は大きく5点

①年間投資枠  
(投資対象商品)

②制度併用の可否

③非課税保有期間

④非課税保有限度額

⑤口座開設期間

## 現行NISA

つみたてNISA	一般NISA
40万円 (積立・分散投資に適した一定の投資信託)	120万円 (上場株式・投資信託等)
併用不可	
最長20年間	最長5年間
800万円	600万円
2023年末まで	2023年末まで

## 新しいNISA

つみたて投資枠	成長投資枠
<b>120万円</b> (現行のつみたてNISAと同様)	<b>240万円</b> (上場株式・投資信託等*1)
<b>併用可能</b>	
<b>無期限化</b>	
<b>1,800万円 (両枠合算) *2</b> (成長投資枠は1,200万円まで)	
<b>恒久化*3</b> (2024年1月以降)	

\*1 整理・監理銘柄、信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託およびデリバティブ取引を用いた一定の投資信託等を除外。

\*2 簿価残高方式で管理 (枠の再利用が可能)。

\*3 2023年末までに現行の一般NISAおよびつみたてNISA制度において投資した商品は、新しい制度の外枠で、現行制度における非課税措置を適用。現行制度から新しいNISA制度へのロールオーバーは不可。

※ジュニアNISA (未成年者少額投資非課税制度) は2023年で終了となります。ジュニアNISAで投資した商品については、非課税期間 (5年) 終了後、自動的に継続管理勘定に移管され、18歳になるまで非課税で保有することが可能です。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

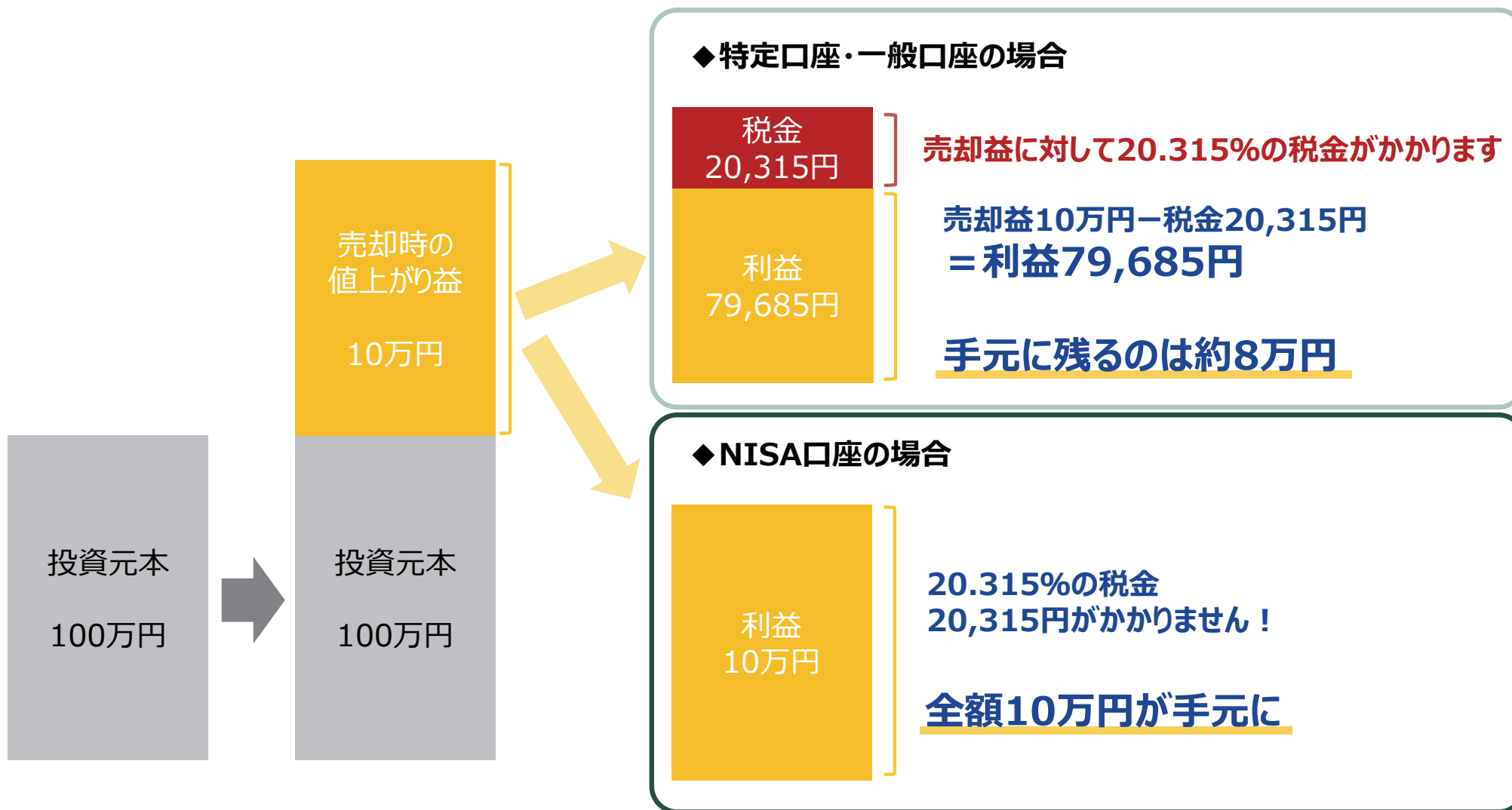


三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# NISAによる税の軽減効果①

## <値上がり益の比較の例>



この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。  
 上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。  
 将来予告なく変更される場合があります。

# NISAによる税の軽減効果②

## <日経平均に一括投資し、20年間運用した場合のシミュレーション>

2002年12月末～2022年12月末、月次



投資金額	240万円
運用結果	約730万円
売却益	約490万円

### 特定・一般口座の場合

売却益 約490万円  
 一税金 約100万円  
 (税率 20.315%)

手取り 約390万円

### NISA口座の場合

非課税のため

手取り 約490万円

**特定・一般口座であれば課税された約100万円もNISAなら受け取れます。**

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。実際の運用においては、市場動向等の諸条件が異なることによりパフォーマンス等は大きく異なります。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# 税の軽減効果を最大限活かすには？

## ポイント

- ① 損失を抑える
- ② 期待リターンを上げる

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。  
将来予告なく変更される場合があります。



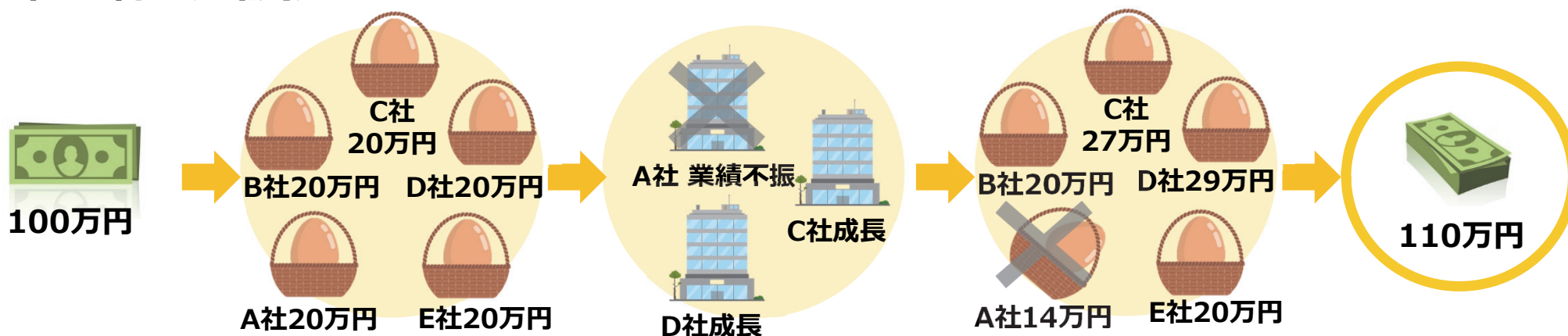


# 分散投資の重要性 ～損失を抑える～

## ■ 1社の株のみに投資する場合



## ■ 5社の株に分散投資する場合



※上記はイメージです。

※分散投資する場合でも、当初の投資金額を下回る成果となる場合もあります。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

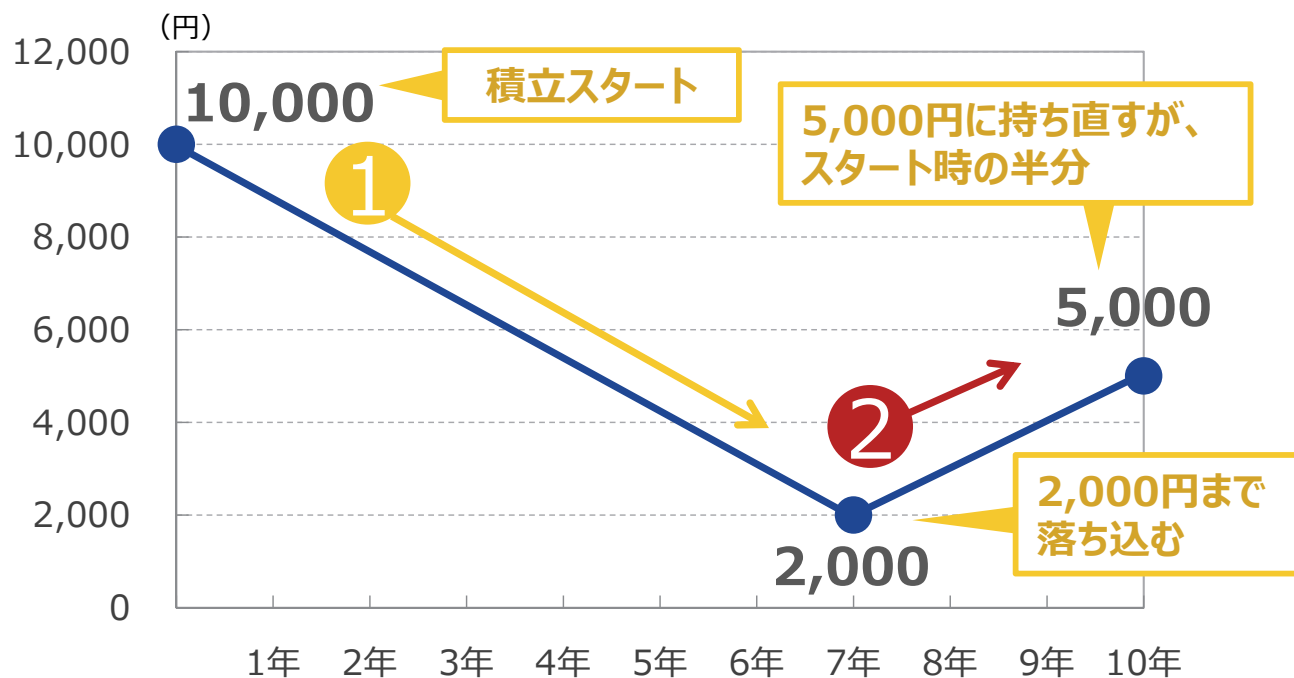
上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

# 時間の分散にも注目しましょう① ～損失を抑える～

▶ 下図のような値動きをする投資信託の10年後の運用結果は？

- スタート時に一括で120万円を投資した場合 → 運用結果は60万円（投資金額の半分）
- 10年間ずっと毎月1万円で積立投資した場合 → 運用結果は??万円

＜ある投資信託の基準価額の値動き＞



この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。  
上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。  
将来予告なく変更される場合があります。

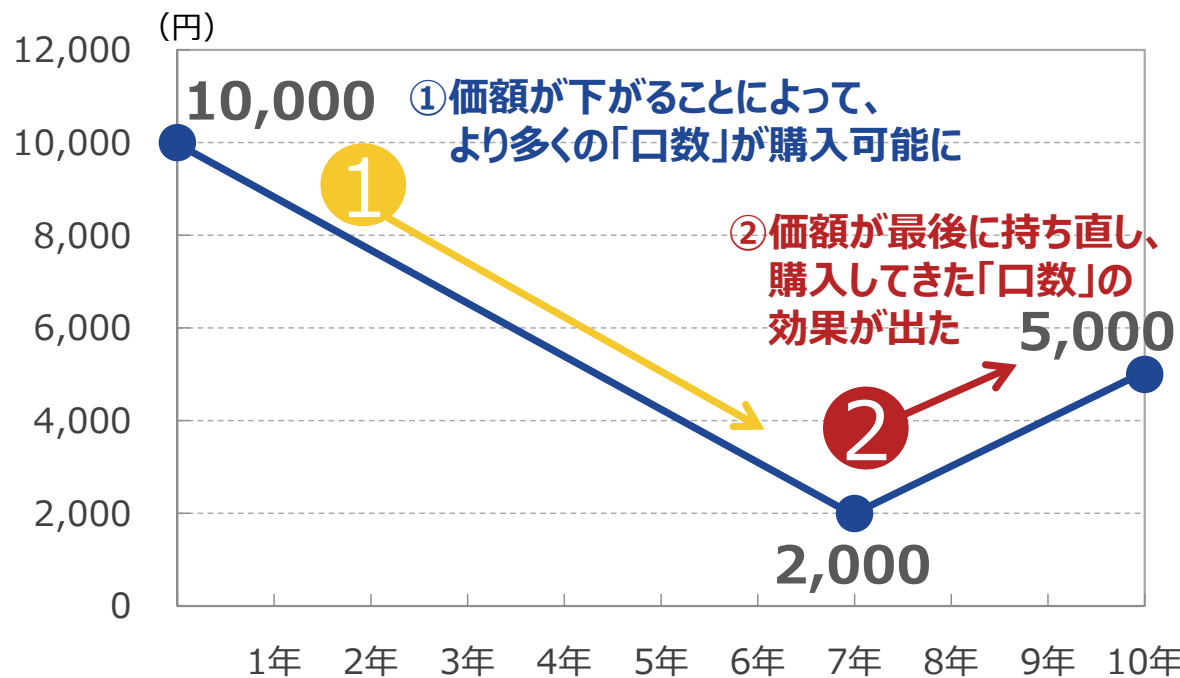


# 時間の分散にも注目しましょう② ～損失を抑える～

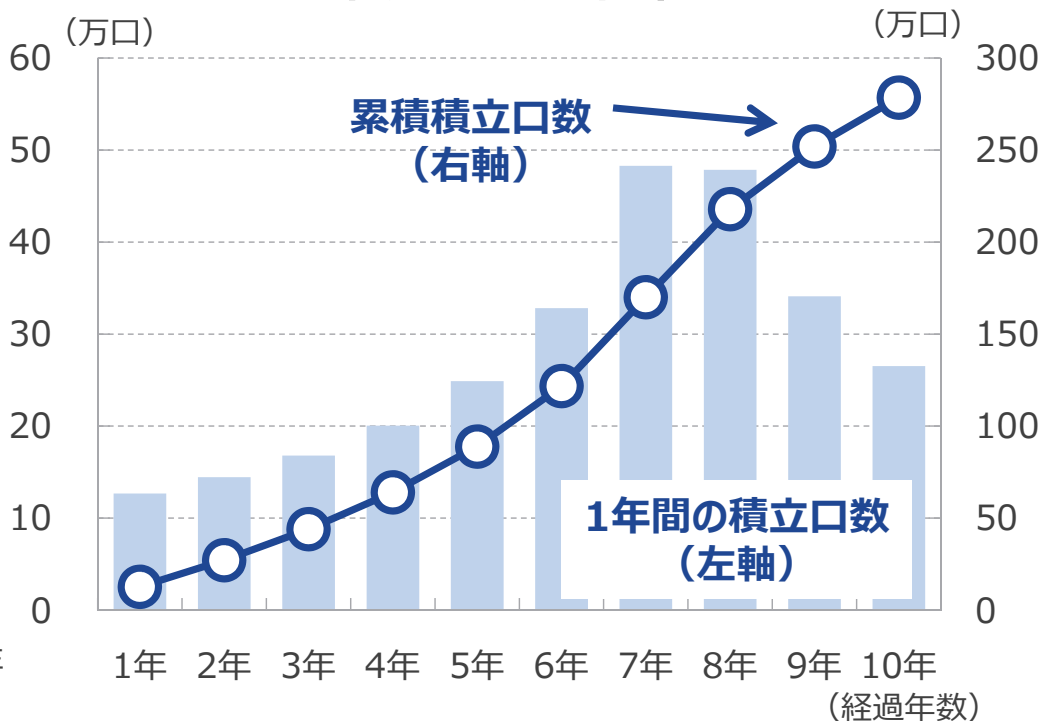
▶ 下図のような値動きをする投資信託の10年後の運用結果は？

- スタート時に一括で120万円を投資した場合 → 運用結果は**60万円**（投資金額の半分）
- 10年間ずっと毎月1万円で積立投資した場合 → 運用結果は**約139万円**

＜ある投資信託の基準価額の動き＞



＜積立口数の推移＞



※ 上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

# 時間の分散にも注目しましょう③ ～損失を抑える～

＜日経平均に一括投資、積立投資（月1万円）をした場合のシミュレーション＞

## ＜日経平均の推移＞

2002年12月末～2022年12月末、月次



2002年12月末～  
2022年12月末  
投資資金  
240万円

2007年6月末～  
2022年12月末  
投資資金  
186万円

## 運用結果

240万円 一括投資	約730万円
月1万円 積立投資	約446万円
186万円 一括投資	約268万円
月1万円 積立投資	約329万円

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。



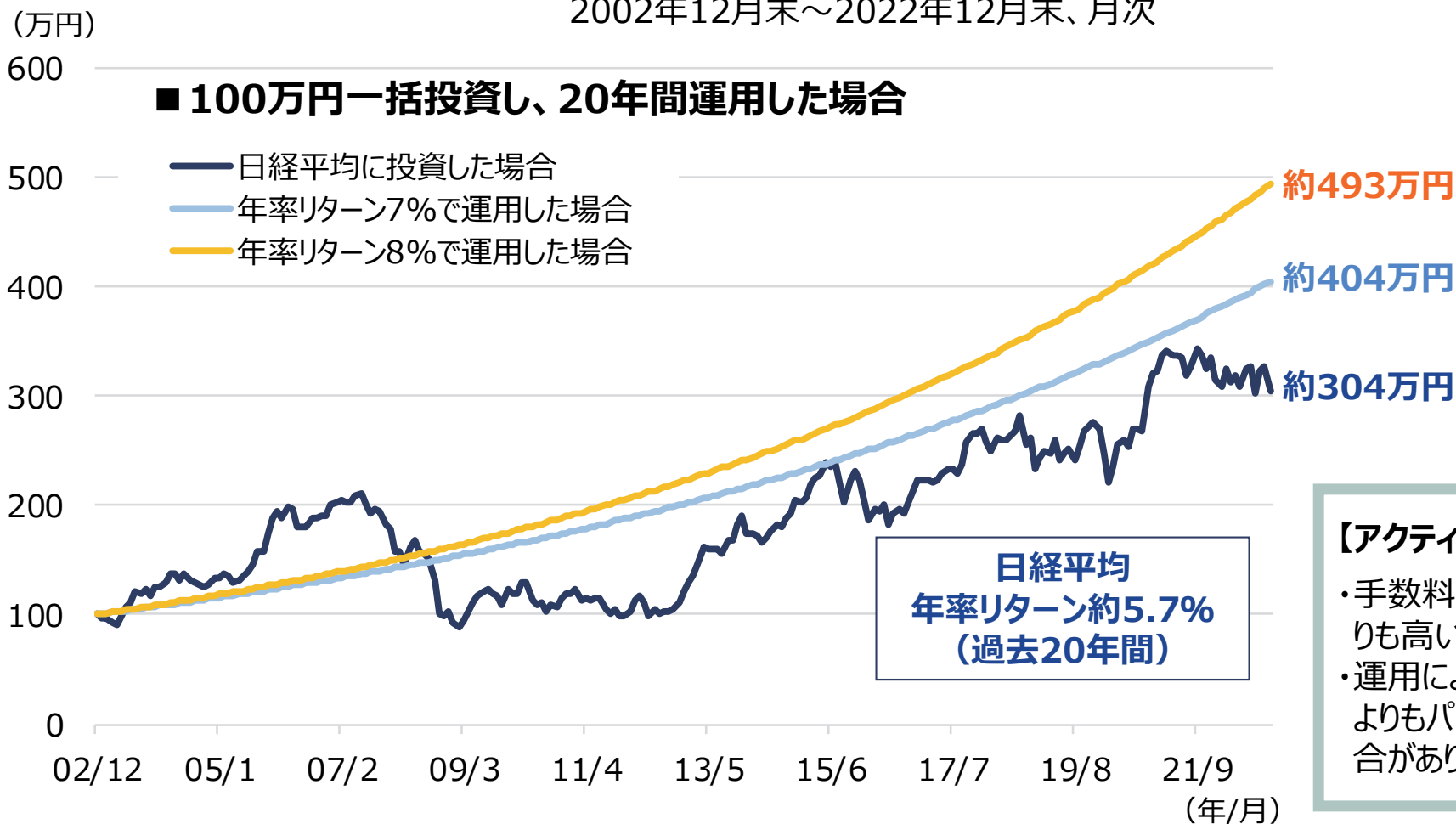
三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# 投資商品の選定 ～期待リターンを上げる～

## <日経平均、年率リターン7%、8%で運用した場合のシミュレーション>

2002年12月末～2022年12月末、月次



### 【アクティブファンドの注意点】

- ・手数料等がインデックスファンドよりも高い場合があります。
- ・運用によってはインデックスファンドよりもパフォーマンスが低くなる場合があります。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# 新しいNISAで強化されるポイント

## 2022年11月 資産所得倍増プランが決定

日本の家計金融資産の半分以上を占める現預金を投資につなげて、企業の持続的な成長と家計の資産所得の好循環を実現させる。



## 2024年1月 新しいNISAの恒久化・無期限化、年間投資枠の拡大

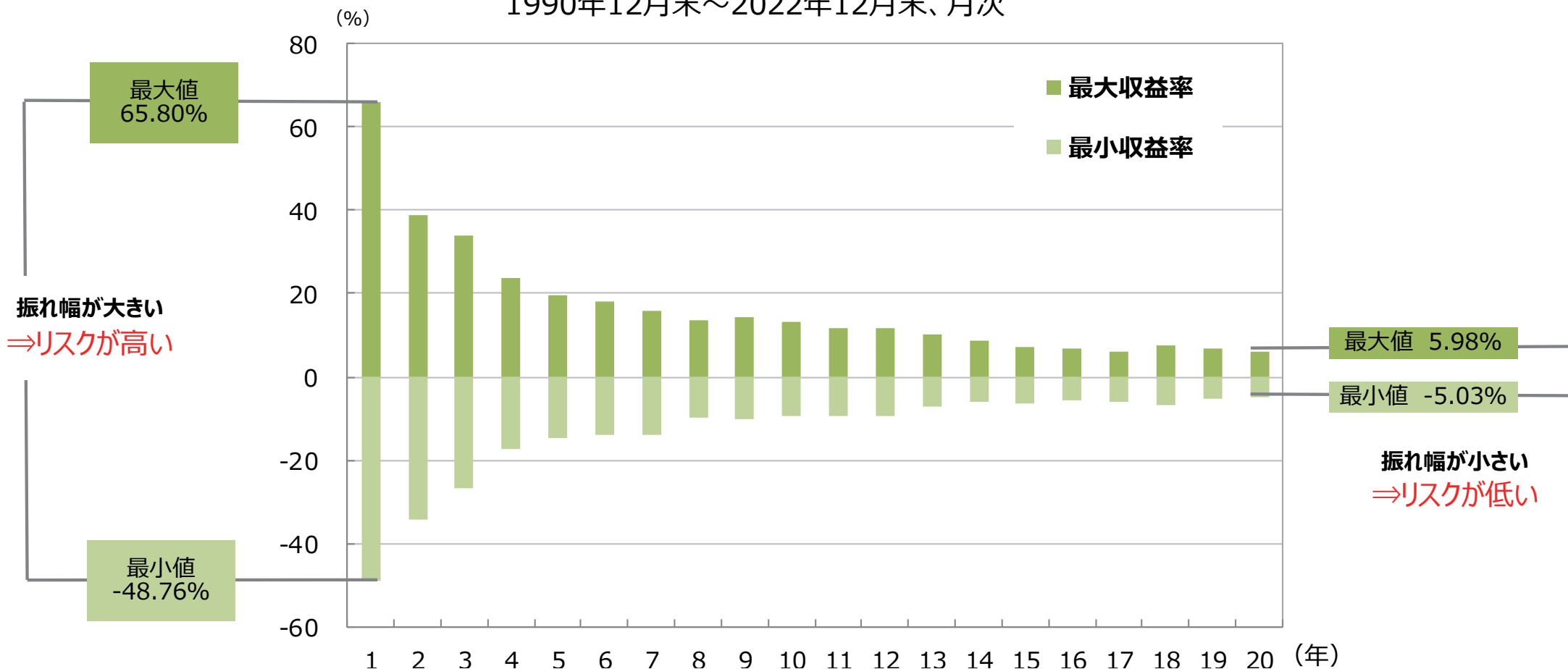
貯蓄から資産形成を促すために、NISAを簡素でわかりやすく、使い勝手の良い制度へ。

**若年期から高齢期に至るまで、継続的に資産形成**できるように、制度として恒久化し・非課税保有期間を無期限化、さらに年間投資枠を大幅に拡大。

# 長期保有でリスクを抑える

## <日経平均の保有期間別の年平均収益率の最大値、最小値>

1990年12月末～2022年12月末、月次



(注) 1990年12月末～2022年12月末のデータをもとに、各月末からの保有期間別の年平均収益率を算出。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

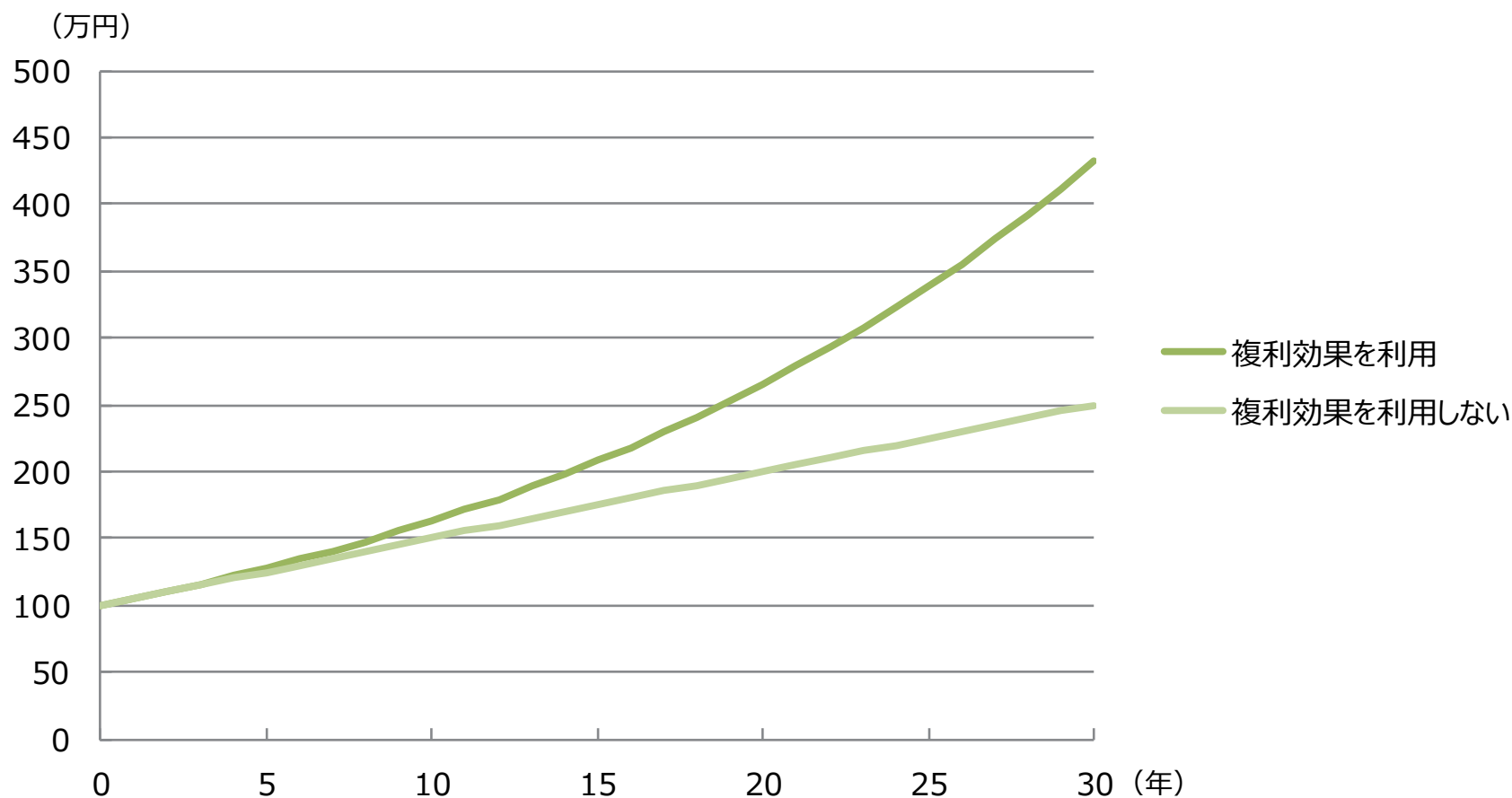


三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# 長期保有で期待される複利効果

## ＜複利効果を利用した場合と利用しない場合の比較＞ (100万円を年率5%で運用した場合)



※金融機関によっては、NISA口座で分配金の再投資ができない場合があります。

※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

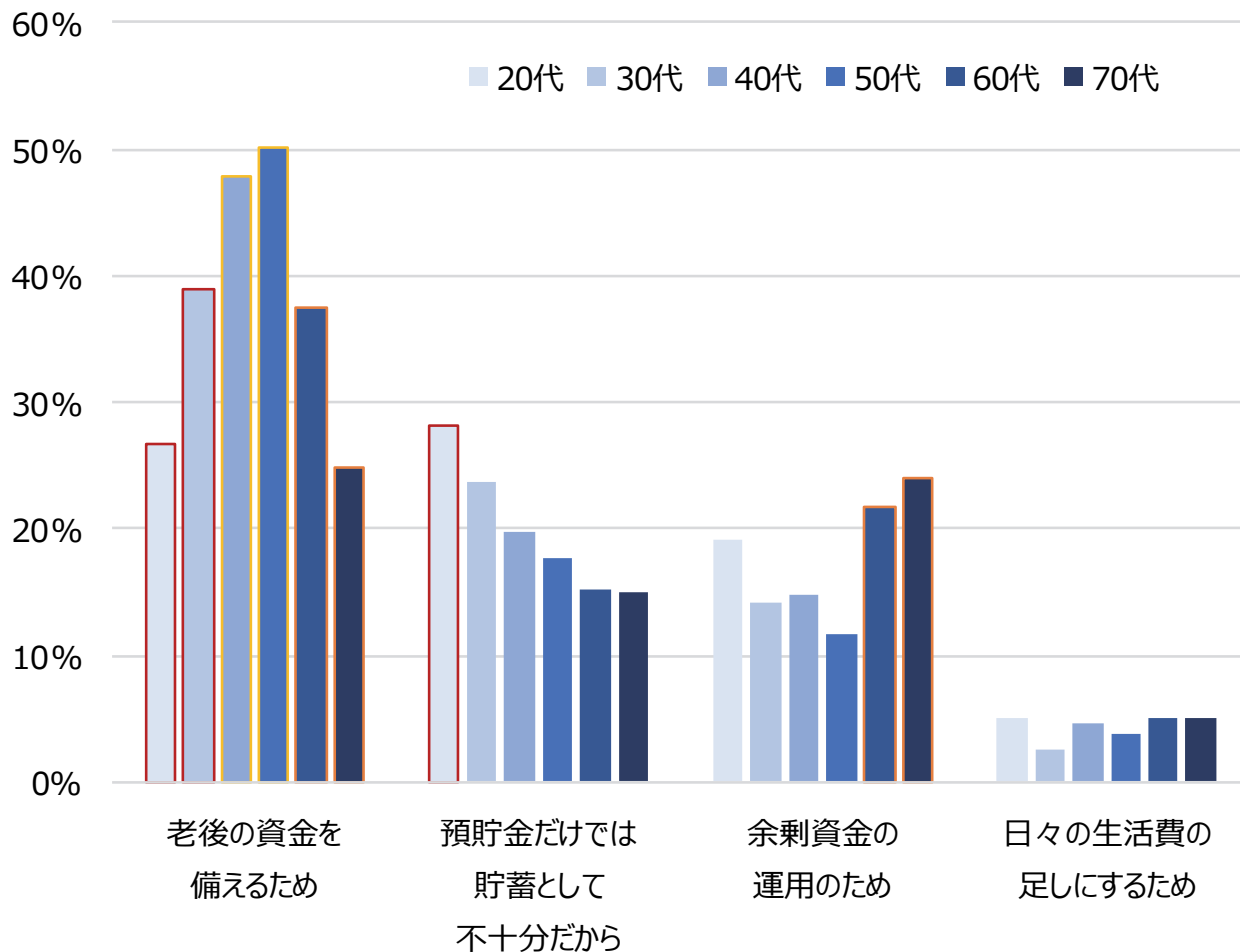
上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。  
将来予告なく変更される場合があります。



# 各世代が意識する長期投資

## <NISA口座開設目的（NISA口座開設者ベース）>

2022年3月17日現在



20～30代は、貯蓄を増やすために長期投資を意識。老後2,000万円問題も大きく話題になり、預貯金だけでは貯蓄として不十分との問題意識が浸透。

40～50代は、現実的な老後の備えを最も意識。充実したシニアライフを楽しむためにも、中長期的な時間を味方につけることが大切。

60～70代は、60～70代は、人生100年時代に備える意識が強い。余剰資金を運用しながら、一部は投資から得た資金を日々の生活資金に加えることを想定して、中長期投資を実践。

(注) 日本全国の20歳～79歳の男女を対象に調査。サンプル数（回答数）10,000。

(出所) 日本証券業協会「2021年度国民のNISAの利用状況等に関するアンケート調査報告書（2022年6月）」を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.



# つみたて投資枠で長期投資（50年）

投資枠の使い方のイメージ

つみたて投資枠で月3万円を50年積立投資

非課税保有限度額をすべて利用するまで  
**50年**

つみたて  
投資枠

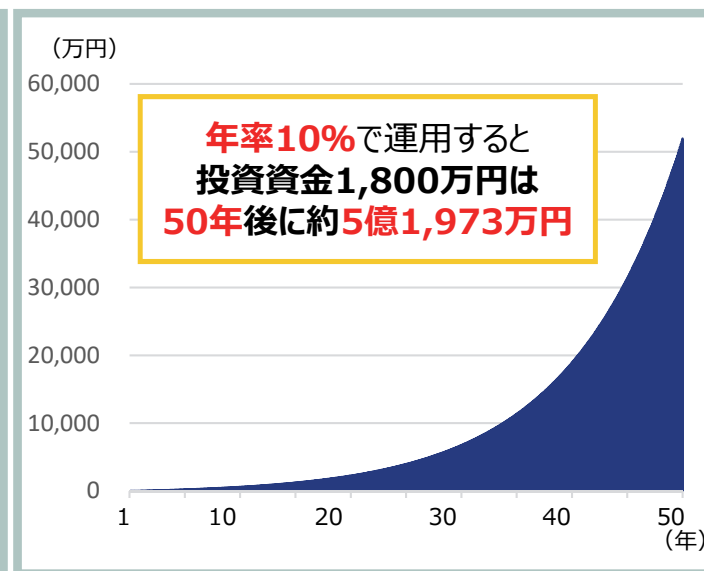
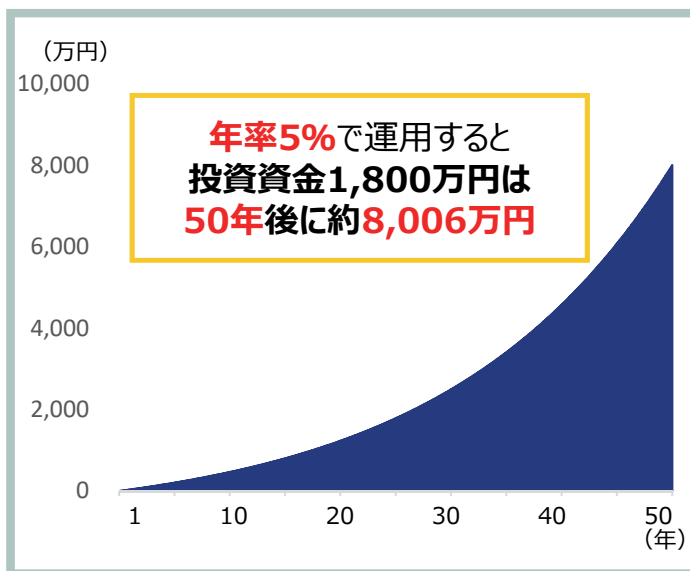
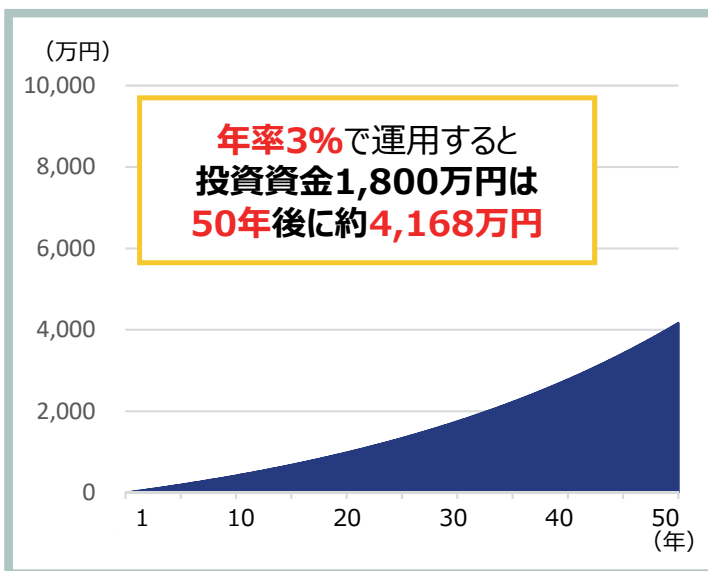
成長  
投資枠

**23歳**  
スタート

月3万円（年間36万円）積立投資

**73歳**  
投資金額合計  
1,800万円

投資成果のイメージ



※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。



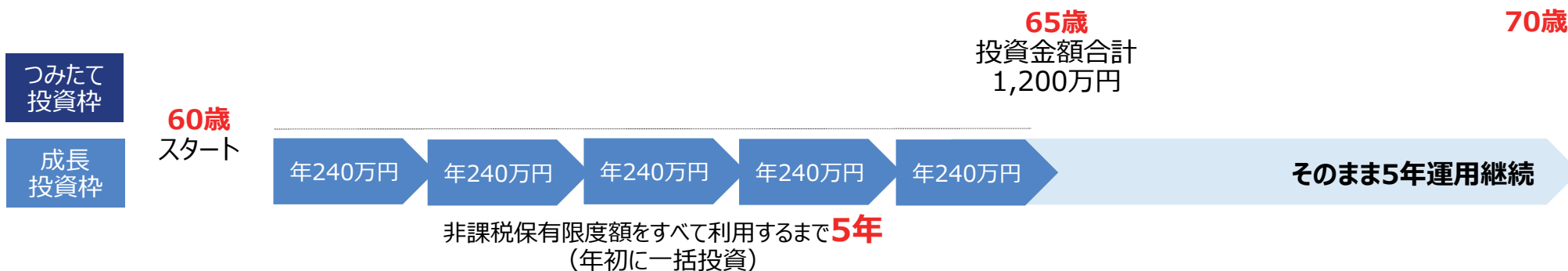
三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

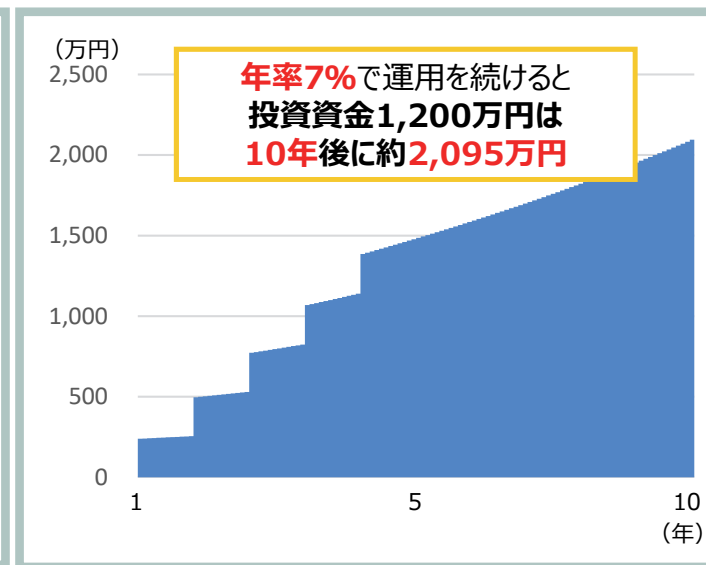
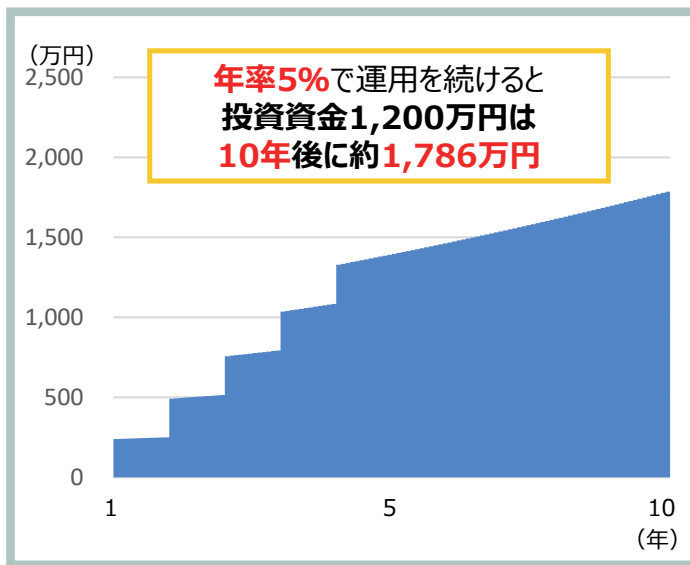
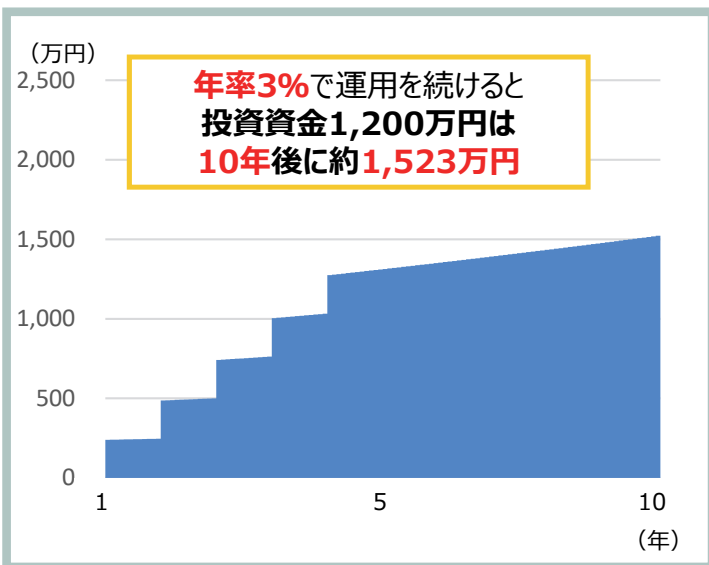
# 成長投資枠で長期投資（10年）

投資枠の使い方のイメージ

成長投資枠で年240万円を5年一括投資



投資成果のイメージ



※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。



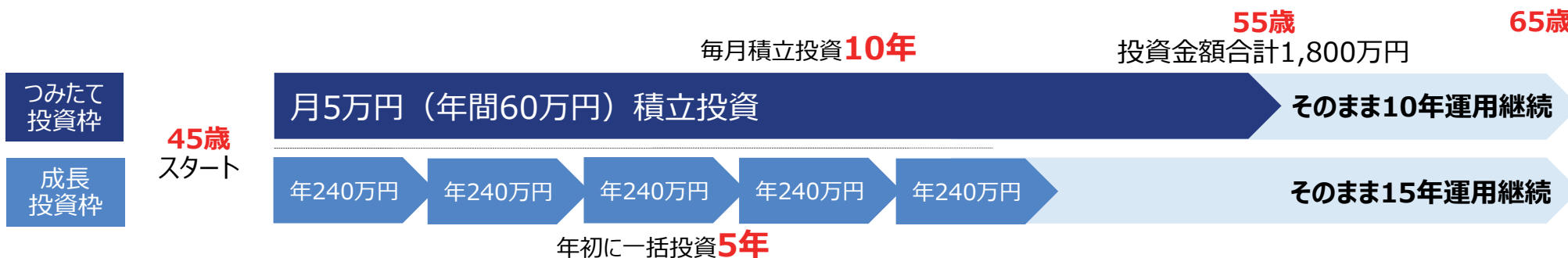
三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# つみたて投資枠 + 成長投資枠で長期投資（20年）

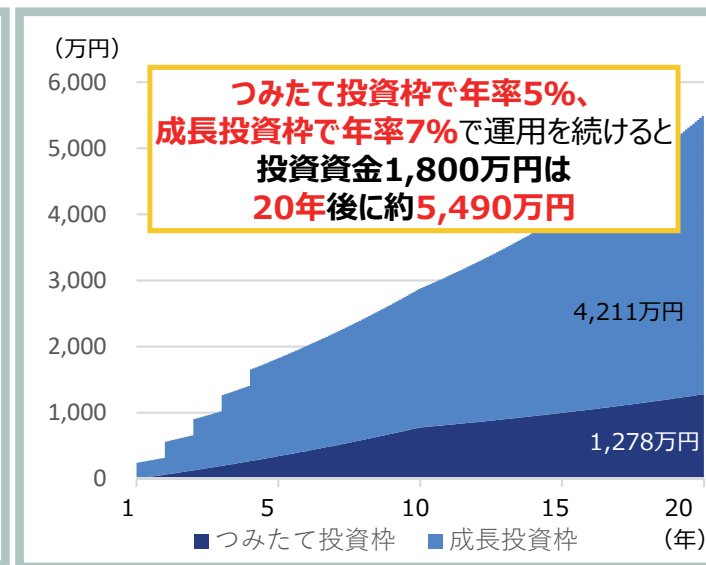
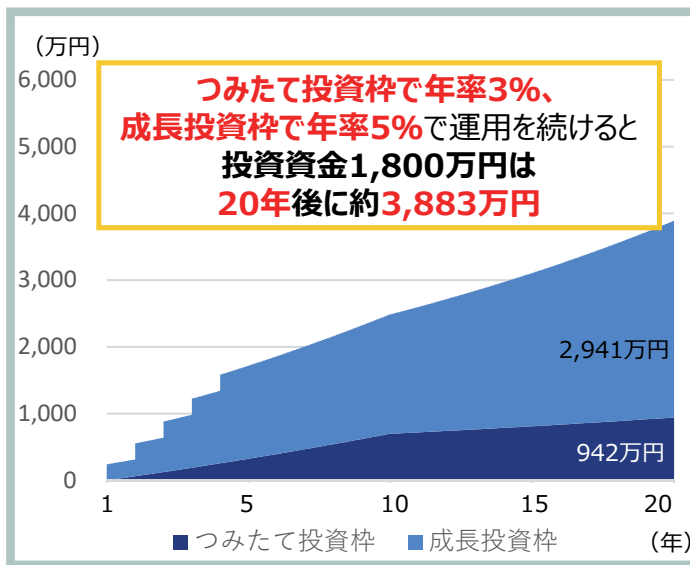
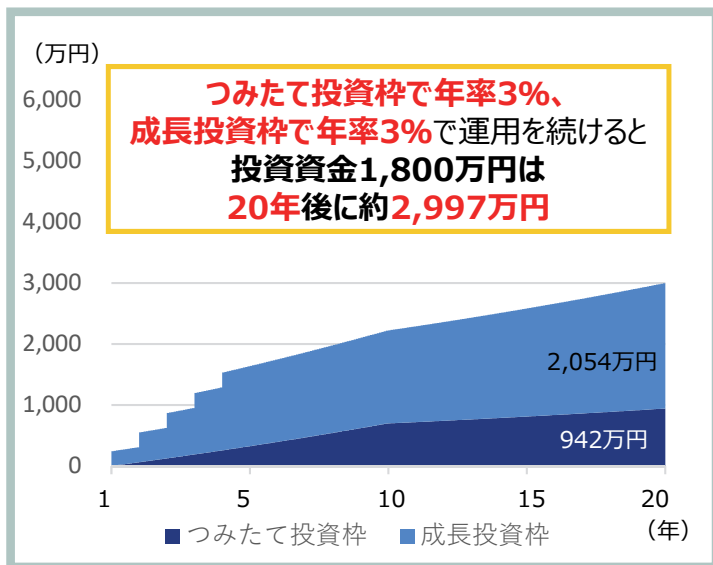
## 投資枠の使い方のイメージ

つみたて投資枠で月5万円を10年積立投資、成長投資枠で年240万円を5年一括投資



※年間投資枠は、つみたて投資枠が120万円、成長投資枠が240万円、両枠合算で最大360万円となっています。

## 投資成果のイメージ



※上記は過去のデータを基に三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。

この動画の最後に重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

# まとめ

## 今回のセミナーのポイント

### ① NISA（少額投資非課税制度）を活用した税の軽減効果

- ⇒ 「運用益が非課税」というNISAの最大のメリットを活かすため、
- ・分散投資で損失を抑えましょう
  - ・期待リターンの向上が大事

### ② 長期投資の魅力

- ⇒ 新しいNISAで利用しやすくなる長期投資の魅力を再確認しましょう
- ・長期保有でリスクを抑える
  - ・複利効果を得られる

### ③ 新しいNISAの活用方法

- ⇒ 「つみたて投資枠」、「成長投資枠」そしてその二つの枠の併用が可能
- ・投資期間、リスク許容度等により投資枠の利用方法はさまざま

# (ご参考) 現行NISAの活用で非課税投資枠を最大化

## 非課税投資枠を最大化できるのは2023年が最後です！

- ✓ 現行のNISA口座と新しいNISA口座が完全に別管理されます。
- ✓ 2024年から始まる新しいNISA制度では、現行のNISA制度の非課税投資枠とは別に、新たに非課税投資限度額1,800万円が付与されます。  
つまり、**現行NISA口座と新しいNISA口座の併用で、非課税投資枠が増えます。**
- ✓ なお、現行のNISAは2023年までとされていますので、**非課税投資枠を最大化できる最後の年です。**
- ✓ 現行NISA口座を保有している場合は、2024年1月に自動的に新しいNISA口座が開設される予定です。

### (1) 2023年につみたてNISA口座を開設した場合

$$\begin{array}{|c|} \hline 2023年～2042年 \\ \hline つみたてNISA \\ \hline 40万円 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline 2024年～ \\ \hline 新しいNISA \\ \hline 1,800万円 \\ \hline \end{array} = \underline{\underline{1,840万円}}$$

### (2) 2023年に一般NISA口座を開設した場合

$$\begin{array}{|c|} \hline 2023年～2027年 \\ \hline 一般NISA \\ \hline 120万円 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline 2024年～ \\ \hline 新しいNISA \\ \hline 1,800万円 \\ \hline \end{array} = \underline{\underline{1,920万円*}}$$

\* 1,920万円のうち、一般NISAの120万円分は2027年までとなります。

## 【重要な注意事項】ご留意いただきたい点

- この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。
- リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。
- リスク性商品中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。

- 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。